

## 山形県農林水産部指定管理者審査委員会（令和7年度第3回）の概要

### 1 日時

令和7年8月8日（金）14時15分～16時35分

### 2 会場

山形県庁15階 1502会議室

### 3 出席委員

小泉 篤 委員長、細江 大樹 委員、田牧 大祐 委員、山田 忍 委員、  
佐藤 年彦 委員

### 4 公開・非公開の別

非公開と決定

### 5 審査内容及び質疑概要

#### （1）漁船以外の船舶が使用することができる由良漁港の白山島船揚場の船舶保管施設について

##### ① 第一次審査（応募資格に関する適格検査）

事務局が事前に申請書類を調査した結果、募集要項に定める書類・資格・要件が備わっている旨を報告。併せて、委員長が各委員に対し、失格事項のうち「審査委員会の委員に個別に接触したとき」に該当しないことについて確認。それらの結果、申請団体は、選定基準に適合しているものとされた。

##### ② 第二次審査（基本事項に関する適格検査、申請団体によるプレゼンテーション、提案内容審査）

第二次審査の方法について了承され、申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、審査を行った。

#### <申請団体との主な質疑応答、意見等>

- 自治会として力を入れていることや何かPRになることを教えてほしい。（委員）
- 地域ビジョンを作成し、鶴岡市から補助金をいただきながら、景観等の地域資源を活用する事業を展開している。防災にも力を入れており、避難所の整備などを進めている。（申請団体）
- 週1回の見回り以外でもトラブルは発生する可能性はあると思うが、どのように対処するつもりか。（委員）
- 定期的な報告は週1回だが、見回り担当者は漁師でもあり、毎日港に来るので、何かあればすぐに港の傍にある事務所（由良コミュニティセンター）に報告してもらおう。（申請団体）
- 地区の人口減少で収入が減っているが、今後、自治会として事業の縮減は検討しているか。（委員）

- 自治会が100%費用を負担している事業について、参加者からいくらか参加料をもらいつつ、事業を継続していきたいと考えている。(申請団体)

#### <申請者の財務状況について(委員よりコメント)>

- 最近の自治会には珍しく、地域のニーズをとらえて多岐にわたる事業をやっている印象を受けた。漁港管理が初めてであることと、自治会の収入が減少傾向であることが少し不安に思った。
- 予算書の中で予算と決算を合わせて処理しているところが見受けられたので、そこは分けて管理するよう改めてもらいたいと思った。
- 景観をはじめとした地域資源を大切にしている点は評価できる。施設の規模もそれほど大きくないので、漁協から引き継ぎを受けてこれまでどおりやってもらえればと思う。
- 自治会の活動内容からも管理能力があることが見て取れる。
- 自治会の運営をきちんとやっている。防災にも取り組んでおり、施設管理における危機管理も期待できる。

#### ③ 審査の結果

各委員による採点の集計結果について、「適格審査については、全員が全項目の要件を満たしている」と採点し、提案内容については、100点満点のところ、平均点が65点である」旨を事務局が報告した。(集計結果に対する質問、意見は無し。)

#### ④ 採決

各委員から、鶴岡市由良自治会を指定管理者の候補者とすべき者として選定することについて、了承を得た。

#### <主な評価点>

- 地元自治会として、しっかりと事業をやっているところが評価できる。
- 危機管理面に言及があり、自治会の活動実績からも取組みに期待できる。

### (2) 漁船以外の船舶が使用することができる堅苔沢漁港の船舶保管施設

#### ① 第一次審査(応募資格に関する適格検査)

事務局が事前に申請書類を調査した結果、募集要項に定める書類・資格・要件が備わっている旨を報告。併せて、委員長が各委員に対し、失格事項のうち「審査委員会の委員に個別に接触したとき」に該当しないことについて確認。それらの結果、申請団体は、選定基準に適合しているものとされた。

#### ② 第二次審査(基本事項に関する適格検査、申請団体によるプレゼンテーション、提案内容審査)

第二次審査の方法について了承され、申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、審査を行った。

### <申請団体との主な質疑応答、意見等>

- 堅苔沢マリーナクラブの運営は特に問題なくやっているか。(委員)
- 特に問題なくやっている。(申請団体)
- 施設を巡視する担当者は誰になるのか。(委員)
- 会長が行う予定である。(申請団体)
- 許可に関する事務は誰が行うのか。(委員)
- 事務局が行う。(申請団体)
- 県との連絡窓口は誰になるのか。(委員)
- 会長になる。(申請団体)

### <申請者の財務状況について(委員よりコメント)>

- これまで漁協から委託を受けて利用者の調整を行ってきたことから、管理能力は問題ないと思うが、資料やプレゼンテーションに具体性がないように感じた。
- 実際に施設を利用する人たちが自治的に施設を管理するのは、適切なことだと思う。
- これまで漁協から請け負ってきた業務の延長線上の業務になるのかなと感じた。質疑の中で、巡視は全て会長が行うかのような発言があったので、しっかり危機管理できる体制を作ってほしい。
- これまでは指定管理者から委託を受けて管理してきたが、これからは自らが指定管理者となるという自覚をもって業務にあたってもらおうよう県が指導していくべき。

### ③ 審査の結果

各委員による採点の集計結果について、「適格審査については、全員が全項目の要件を満たしていると採点し、提案内容については、100点満点のところ、平均点が60.6点である」旨を事務局が報告した。(集計結果に対する質問、意見は無し。)

### ④ 採決

各委員から、堅苔沢マリーナクラブを指定管理者の候補者とすべき者として選定することについて、了承を得た。

### <主な評価点>

- これまでも漁協から委託を受け、利用者の調整等を行ってきた実績は評価できる。

以上